

普及・教育・研究活動報告（2022 年度）

1. 2022（令和 4）年度の普及活動

1) 展示・情報公開

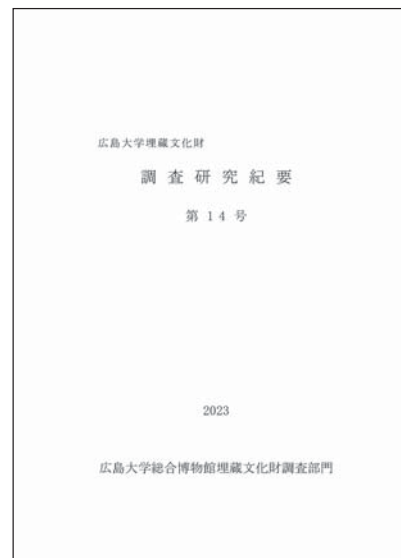
a. 埋蔵文化財調査部門サテライト館の公開

埋蔵文化財調査部門では、総合博物館サテライト館のひとつとして展示室を整備し、構内遺跡で出土した資料を中心に展示公開、解説を行っている。2022 年度の来館者は 742 名（前年比 1.99）であった（2007 年 5 月のリニューアルオープンからの延べ来館者 8,317 名）。対面での行事も増加し、大人数の団体受け入れが複数あったことが幸いし来館者は増加した。団体見学は、7 月のジュニアドクター育成塾 147 名と親子の体験歴史村 82 名、10 月の博物館実習 1 学内博物館見学 43 名、12 月の探検文化財 57 名、2023 年 1 月の教養教育科目「広島大学の歴史」135 名などがあつた。

b. 刊行物

『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』第 14 号（2023 年 3 月刊行）

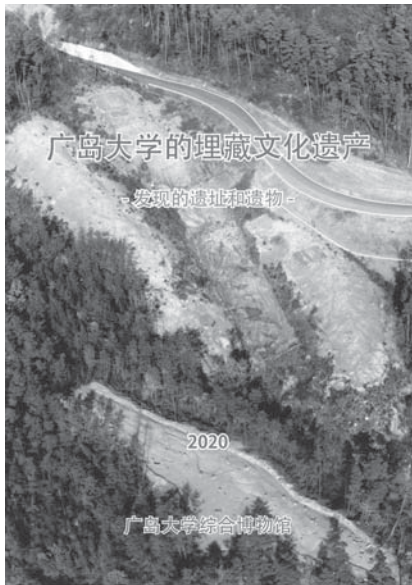
埋蔵文化財調査部門の研究および調査の成果と普及活動の年度報告を発信するもので、研究編には「呉市倉橋町室尾周辺出土の考古資料」と「東広島キャンパス出土弥生土器と西条盆地土壌の砂粒分析と同位体比からみた土器粘土産出地の一考察」、「漆容器としての須恵器-東広島市新建遺跡採集資料の報告-」、「甕底部黒色付着物の材質分析と放射性炭素年代測定」の 4 本を掲載し、調査編には「開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2021 年度）」、普及・教育・研究活動報告編には「普及・教育・研究活動報告（2021 年度）」、付編には「総合博物館埋蔵文化財調査部門の組織（2021 年度）」が収められている。



第 17 図 紀要第 14 号の表紙

『広島大学の埋蔵文化財（中国語版）』（2023年3月刊行）

2018年度に東広島市教育委員会との共催によって開催した企画展「大学と埋蔵文化財～キャンパスの遺跡・発見された文化財の魅力～」において、広島大学の遺跡と遺物を紹介する日本語パンフレット『広島大学の埋蔵文化財-発見された遺跡と遺物-』を作成して配布した。大学の遺跡について広く知ってもらうため、翻訳した英語版（2021年3月）、韓国語版（2022年3月刊行）に続いて中国語版を作成した。



第 18 図 パンフレット中国語版の表紙



第 19 図 古墳時代の紹介ページ

『HUM-HUM』Vol.16 への寄稿（2023年3月発行）

広島大学総合博物館のニューズレターにおいて、埋文の発掘この1年に「霞キャンパス全域が遺跡になりました！」として2022年度の学内遺跡の立会・試掘調査の概要を紹介した。また、「縄文社会の研究」と題して埋蔵文化財調査部門構成員の川島の研究を紹介した。

c. ホームページ・Facebook 等の運用

ホームページの更新と Facebook、X（旧 Twitter）への投稿、google マップおよびストリートビューの活用、YouTube への動画投稿、3D モデルを sketchfab にて公開、遺跡保存区説明版への QR コード（HP へのリンク）取り付けなどを行い、キャンパスの遺跡や展示遺物の情報を発信している。また、広島大学デジタルミュージアムの「文化財博物館」に、これまで HP で管理していた内容を移設して情報を更新している。

2) 調査資料および遺跡の整備・管理

a. 東広島地区：保存区の草刈り整備

毎年、東広島地区の遺跡保存区では、東広島市シルバー人材センターに依頼して草刈り整備を実施している。2022 年度は新池遺跡、西ガガラ遺跡第 1 地点、山中池南遺跡第 2 地点、鏡西谷遺跡の草刈りを実施した。また、鏡西谷遺跡では学生アルバイトおよび東広島市シルバー人材センターにより竹の伐採作業も行った。

新池遺跡・西ガガラ遺跡第 1 地点・山中池南遺跡第 2 地点の草刈り

2022 年 10 月 10 日～15 日

鏡西谷遺跡の草刈り 2022 年 11 月 15 日～18 日、21 日

鏡西谷遺跡周辺の竹伐採 2022 年 12 月 15 日、2023 年 2 月 25 日

3) 遺跡・遺物の整理

本年度の遺物整理として、以下の作業を行った。

a. 調査図面整理（大型スキャナによるスキャン）

b. 出土資料の整理

立会調査出土資料の洗浄、ナンバリング、接合、データ入力、収蔵等

霞地区出土遺物の整理

c. 東広島市塚土第 2 号墳・鴻の巣遺跡出土鉄製品保存処理

元興寺文化財研究所に依頼

d. 展示資料の 3D スキャン（Metashape および 3D スキャナーを使用）

4) 遺跡と遺物の利活用・社会貢献・普及教育活動

今年度は以下の利用および活動があった。

a. 蛇迫山古墳・塚土第 2 号古墳出土資料の貸出（東広島市出土文化財管理センター）

令和 4 年度出土文化財企画展『東広島市の古墳』（2022 年 1 月 8 日～2 月 14 日（東広島市出土文化財管理センター）、2023 年 2 月 8 日～13 日（東広島芸術文化ホール）

b. 医学部 11 号館基礎の写真利用（広島市郷土資料館） 図録『陸軍の三廠』に掲載

c. 西ガガラ遺跡出土資料、山中池南遺跡第 1 地点出土縄文時代石器、上殿遺跡出土縄文時代石器、石器製作実験資料の貸出（藤野次史氏） 文学部考古学基礎論 A および研究で使用

d. 鏡西谷遺跡・山中池南遺跡第 2 地点出土弥生土器および土壌の砂粒分析と同位体

分析（石丸）

- e. 陸軍関連遺跡（兵器補給廠地点）調査時写真利用（藤野次史氏）学会発表および講演会「旧広島陸軍兵器支廠周辺の遺構を歩こう」スライドおよびチラシで使用
- f. 冠遺跡調査時写真、鴻の巣遺跡出土資料写真（株式会社エイジャ）『広島の教科書』に掲載
- g. 平木池遺跡出土黒曜石製石鏃の貸出（広島県立歴史博物館）常設展で展示
- h. 霞地区出土防衛食器、翠地区出土軍用食器、調査時写真資料の貸出（広島大学医学部医学資料館）企画展『赤レンガの医学資料館～陸軍兵器補給廠だった医学資料館で見る広島とヒロシマの医学史～』において展示
- i. 親と子の体験歴史村（東広島市と共催）での展示室・遺跡の利用
- j. 「ついに日本へ！ スロベニアの作家・世界旅行家 アルマ・M・カルリン特別展」11月4～17日 スロベニア共和国大使館・広島大学異文化館教育推進室との共催
- k. ジュニアドクター育成塾ファーストステージ（FG7 グループの指導協力）での展示室・遺跡の利用
- l. 磯松中学校（4名）・広島県立中学校（3名）の職場体験受け入れ
- m. 東広島市新建遺跡採集資料の寄贈（吉井宣子氏）
- n. 硫酸瓶レプリカ2点の寄贈（長沼毅氏）

その他、各職員が依頼を受けた出前講座等の活動がある。これらの成果については以下の個別活動成果で報告する。

2. 2022（令和4）年度 of 教育活動

1) 学芸員資格取得特定プログラム

川島尚宗	博物館概論A
	博物館概論B
	博物館経営論
	博物館資料論A（自然系）（2回分を担当）
	博物館資料論B（人文系）（2回分を担当）
	博物館実習1
	博物館実習2（事前指導を1回、事後指導を3回実施）

2) その他の教育活動

川島尚宗 教養教育 東広島キャンパスの自然環境管理 (1 回分を担当)

文学部 日本考古学研究 B (集中)

放送大学 先史時代の考古学 (面接授業)

3. 2022 (令和四) 年度の個別研究・普及活動

《川島尚宗》

(著書・論文・成果報告)

鈴木素之・楮原京子・松木宏彰・川島尚宗 2022 年 12 月「変成岩分布域の土砂災害リスクとその地形的特徴-山口県防府市富海地区を例として-」「地盤と建設」Vol. 40, 121-129.

浅野敏久・清水則雄・佐藤大規・後藤秀昭・山中蛭・川島尚宗・黒島健介・石丸恵利子・塩路恒生・池田誠慈・中坪孝之 2023 年 1 月『エコミュージアムと大学博物館』丸善出版

川島尚宗 2023 年 3 月「漆容器としての須恵器-東広島市新建遺跡採集資料の報告-」『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』第 14 号 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

(研究発表・講演・講座)

Kawashima Takamune, Salt Production and Marine Resource Exploitation in the Jomon, WAC-9 World Archaeology Congress、ハイブリッド開催、口頭発表、2022 年 7 月 8 日

Kawashima Takamune, Rupnik Janez, Hudson Mark, Uchiyama Junzo, Pelloli Claudio, Early modern mercury production at Idrija, Slovenia: results from the excavation at the mercury ore roasting sites, 28th EAA Annual Meeting (European association of Archaeologists), ハイブリッド開催、口頭発表 (発表者: 川島)、2022 年 9 月 1 日

Kawashima Takamune, Reexamination of Prehistoric Salt Production at the Hirohata Shell Midden, 4th International Congress on the Anthropology of Salt, ハイブリッド開催、口頭発表、2022 年 10 月 16 日

出前講座「本物がもつ魅力を体感しよう! 広島出土の考古資料」、2022 年 11 月 28 日

(外部資金・共同研究)

「地盤履歴と災害伝承を融合した「時間防災学」視点でのミレニアム土砂・洪水氾濫の解明」基盤研究（A）課題番号:19H00785、研究分担者（研究代表者:鈴木素之）山口県官学連携共同研究「土砂洪水氾濫リスクと土砂供給ポテンシャルの把握に関する研究」、研究分担者

（その他：依頼・協力・委員など）

委員

中四国縄文研究会 広島県世話人

《石丸恵利子》

（著書・論文・成果報告）

石丸恵利子 2022 年 9 月「貝塚・貝層の高所形成をめぐる生活集団の性格」季刊『古代文化』第 74 巻第 2 号、古代学協会、83-89

石丸恵利子 2023 年 3 月「埋蔵文化財および歴史資料への理解と教育普及のための広島大学総合博物館での取り組み-展示・講演会・研究を中心として-」『広島大学総合博物館研究報告』第 14 号、1-16

石丸恵利子・申基澈・米田穰 2023 年 3 月「東広島キャンパス出土弥生土器と西条盆地土壌の砂粒分析と同位体比からみた土器粘土産出地の一考察」『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』第 14 号、広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門、19-44

石丸恵利子 2023 年 3 月「縄文時代の狩猟域を解き明かす-イノシシ・ニホンジカはどこで捕獲されたのか?-」陀安一郎・申 基澈・鷹野真也編『同位体環境学がえがく世界：2023 年版』総合地球環境学研究所、240-244

石丸恵利子 2023 年 3 月「松江城下町遺跡（母衣町 50 外）出土の動物遺存体」『松江法務総合庁舎新営工事に伴う松江城下町遺跡（母衣町 50 外）発掘調査報告書』公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団、87-96

浅野敏久・清水則雄・佐藤大規・後藤秀昭・山中蛍・川島尚宗・黒島健介・石丸恵利子・塩路恒生・池田誠慈・中坪孝之 2023 年 1 月『エコミュージアムと大学博物館』丸善出版

（研究発表・講演・講座）

日下宗一郎・齋藤努・石丸恵利子・山田康弘「保美・伊川津貝塚より出土した古人骨の Sr 同位体分析による移入者の判別」日本地球惑星科学連合 2022 年大会（ハイブリット開催）、幕張メッセ、（オンライン：ポスター発表）2022 年 5 月 29 日

石丸恵利子「高地性集落の動物資源利用と集団の性格に関する一考察」日本動物考古学会第9回大会、豊橋市自然史博物館（口頭）、2022年6月25日・26日

石丸恵利子「土器の同位体分析からみた土器とヒトの移動」第76回日本人類学会大会・第38回日本霊長類学会大会連合大会、自由集会2、京都産業会館ホール（口頭）、2022年9月16日

「弥生・古墳時代の暮らしを読み解く動物考古学」祇園西公民館「熟年大学」2022年4月28日

「貝塚モンスターを探せ！」令和4年度愛南町文化財講座、2022年7月23日・24日
生涯学習まちづくり出前講座「先史時代のものづくり」Ai Kids Club ショージ寺家駅前店内、2022年8月10日

ひらめき☆ときめきサイエンス「考古学のなかの科学～歴史・文化を解き明かす同位体分析・動物遺存体～」開催および「動物考古学-過去を記録した動物遺存体」「同位体考古学-同位体比から得られる歴史の証拠」の解説 東広島市豊栄支所内広島大学総合博物館サテライト館 2022年8月20日

真亀公民館講座「恵下山のつどい」遺跡解説および勾玉づくり講座、2022年12月11日

第4回土器・動物・同位体分析研究会「趣旨説明と同位体比分析と弥生土器」の発表（第1回ひろしま弥生土器研究会）広島市矢野公民館、2023年3月11日

（外部資金・共同研究）

「多元素同位体分析による先史時代の資源利用と社会構成の多角的実態解明」基盤研究（B）、課題番号22H00739、研究代表者

「考古学のなかの科学～歴史・文化を解き明かす同位体分析・動物遺存体～」研究成果公开发表（B）ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI、課題番号：22HT0114、実施代表者

「同位体比分析から見たヒトとモノの動態復元」学術変革領域研究（A）研究計画、課題番号：20H05821、研究分担者（研究代表者：米田穰・東京大学総合研究博物館）

「弥生時代高地性集落の列島の再検証」基盤研究（B）、課題番号：20H01356、研究協力者（研究代表者：森岡秀人・古代学協会）

総合地球環境学研究所2022年度同位体環境学共同研究（（A）一般共同研究）「人・モノ・自然プロジェクト」連携公募研究「同位体分析による縄文・弥生時代の資源利用・生産・流通の実態解明および古環境データの構築」研究代表者

(その他：依頼・協力・委員など)

調査指導・依頼

斎富遺跡出土動物骨の同定 岡山県赤磐市教育委員会 2022 年 4 月 5 日

三原市教育委員会企画展示用資料（広島大学考古学研究室所蔵貝持貝塚資料）の調査
協力 5 月 18 日、2023 年 2 月 6 日

呉市海中採取動物骨の同定、呉市文化振興課 2022 年 6 月 2 日

松江城下町遺跡出土動物遺存体の同定と報告書作成依頼、松江市スポーツ・文化振興
財団、2022 年 9 月 26 日、12 月 16 日

広島城跡サッカースタジアム地点出土動物遺存体の同定 島田組 2022 年 8 月 24 日

広島城跡サッカースタジアム地点出土動物遺存体の同定 広島市文化財団・安芸高田
市 2022 年 9 月 30 日

史跡勝瑞城館跡出土動物遺存体の調査 徳島県藍住町教育委員会 2022 年 12 月 14
日・15 日

松江城下町遺跡白潟地区発掘調査出土動物遺存体同定および調査指導、島根県埋蔵文
化財センター 2023 年 3 月 6 日・7 日

委員

日本動物考古学会 役員

考古学研究会 常任委員

日本文化財科学会 評議員